

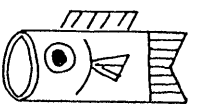
一番屋

Vol. 17 1989. 5. 1

発行 長沼植谷税務会計事務所
発行責任者 長沼 淳子

休日のお知らせ

誠に勝手ながら
5月6日(土)は
休みとさせていただきます。



消費税を考える



副所長
植谷 英毅

百貨店、レジペーパー、ゼイ3%、ポケットの中は、1円玉 10円玉、小銭の重みが消費税？。

消費税が導入されて1ヶ月、便乗値上げ、カルテリ、消費者物価の上昇など消費税の欠陥が種々指摘されています。税に限っていえば、5億円以下の企業に対する簡易課税方式の仕入控除割合における80%と90%の区分である卸売業とその他の業との基準の不明確さ。当初は、産業分類によるとされてしま

したが、各種団体が国税局との交渉により企業向売上は卸売上とみなされるに至り現場は混乱。又、個人事業者の申告、納税は当初2月末までとされていましたが確定申告と同じ3月31日に変わりました。

いかに現場、納税義務者の立場を考慮せず机上で決め、納税者不在のもとに消費税が施行、実施されたかかつかえ、基準もその都度猫の目のように変わっているのが現状です。

家賃100,000円、消費税3,000円、家主は免税事業者の場合、賃借人は消費税という国税を家主に支

払ったことは事実です。しかし、家主が免税事業者であるため賃借人の支払った消費税は国庫に入らない。

5億円以下の企業で簡易課税システムを選択する企業は、おおむね実額計算より有利であるため選択するものであり、預り消費税が実額計算より減少となりこれも免税事業者と同じく国庫に入らない消費税です。

日本国の法律に基づいて施行され、消費者がこの法律に基づいて支払った国税がが国に帰属しないという

日本国の法律に基づいて施行され、消費者がこの法律に基づいて支払った国税が国に帰属しない国税。古今東西、税金をねこばは出来る税制があっただろうか。しかもそれを自ら奨励しPRする行政府。納税義務者である企業は、給与の源泉税と同じく消費税に係る納税事務費用を企業自らの負担において行なわなければならない。本来は、行政府の費用負担において徴収すべきものです。

消費税の見直しが出てきていますが、税の本来の意義に立って考えることが必要だと思います。

消費税スタート1ヵ月……
対策は万全ですか



消費税についてご相談を

消費税について国税当局は、9月30日までは広報、相談及び指導を中心として弾力的運営を行なうものとしており、消費税額の計算方法の選択の届出や申告納付は今年9月30日まで猶予されています。

スタートして1ヵ月の消費税……。計算方法の選択、会計処理等について不明な点、ご相談したいことがありましたらお気軽にお申し付け下さい。

私をよろしく



佐伯 若子 (さえき よこ)

生年月日：昭和29年5月19日

血液型：A型（牡牛座）

2月に入所して早や2ヶ月半。入ってすぐに確定申告の忙しい時を迎え、訳のわからないうちに現在にいたりしました。

来耳の2月には、皆さんの仲間に入って仕事が出来ているようになってほしいと思います。

よろしくお願ひします。



今年のゴールデンウィークは、大阪空港から6万人が脱出する過去最高の記録だそうです。

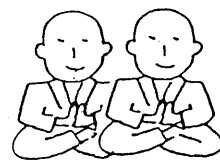
海外脱出派、国内旅行派、日帰りリジャー派、テレビのゴロ寝派とパターンはそれぞれですが、耳々豪華になり、それなりに休日をエンジョイしているようです。

日頃、仕事に疲れている中、自然と触れあうことの少ない人にとって、散歩で道端の名も知らない小さな花を見つけたり、読書の好きな方なら仕事を離れたジャンルの本に親しむことによって、新しい世界を発見したり、未だ知らないもう一人の自分自身に出会えるかも知れません。

せつかくの大型連休、日頃できないこと、日頃したかったことなどに挑戦するのも良いでしょう。

遊び上手は、仕事上手とも言われます。大いに休日をエンジョイして有意義な休日をお過ごし下さい。

座禅研修レポート



土肥 浩二・日景 健司

4月26日から28日の3日間、京都にある妙心寺にて行なわれたTKC新入職員研修会に参加してきました。この研修の目的は、精神鍛練ということで座禅がメインで1時間単位で4回行なわれました。

やはり生まれて初めての経験なので慣れず、足が痛くて精神統一どころではなく、身動きしないようにするのが精一杯でした。足の痛みにも慣れてきたと思うと、今度は雑念や睡気がおこり、ケンカでたにかれる研修生が次々と出ました。

回数を重ねるに従って人間は何にでも慣れるもので一時間の座禅が短かく感じ、それ程苦痛ではなくなりましたが、精神面では「無の境地」にはほど遠

かったです。

食事はリラックスできると思っていましたが、板の間に正座し、お経を唱えてから食事をいただくのですが、それにもマナーがあり絶対に声を出してはならないのと、器は必ず持つて残さずに食べる。食後にはお茶をそれぞれの器に移し、最後に1つだけ残しておいたつげもので器を洗ってからお茶と漬物をいただくという作法でした。その他、写経・法話・グループ討論会等がありました。

この2泊3日の研修は、日常では体験できない事ばかりだったので初めはとまどいと不安もあり、しかし人間というものには初めにできないと思っていても鍛練をしていくうちに自分自身を変化させることが出来るなど精神面の重要性を改めて認識しました。これからの仕事に研修の成果が発揮出来るように頑張りますので、よろしくご指導下さい。

編集後記



若葉の緑が目にあやかな今日この頃、事務所から見える六甲の山並も萌え木色に染まり、そよぐ風も肌心地よく感じられます。自然が新緑から奥へ向う

ように、私達も良い奥りのために、この時期に何か一つを始めませんか。

今回の一番屋プレスは、森・谷口・土肥・山中(誠)の4人でお送りしました。